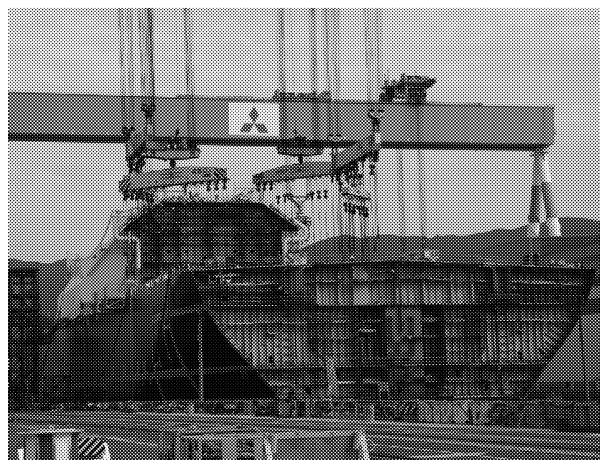


造船から自動車へ広がる産業の街 長崎県



高付加価値分野で海外勢に勝つ
(三菱重工長崎造船所でのLNG船建造の様子)

製造品出荷額で国内2位を誇る造船業も、最近では海外勢に苦戦しているが、振興に向けた取り組みも進んでいる。13年には長崎県全域で、三菱重工と佐世保工業、大島造船所(西海市)が立地する長崎・佐世保・西海の各市が「ながさき海洋・環境産業拠点特区」となった。大型客船や液化天然ガス(LNG)船、省エネ船など次世代船舶の建造やプラスチック処理装置の設置、また造船技術を生かした発電設備の

縮小せずに済む。さらに中堅企業から中小零細企業へ仕事が広がること

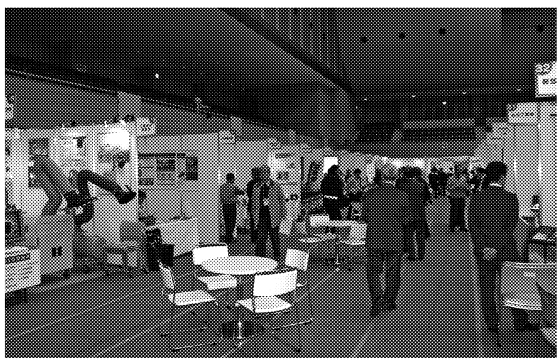
造船、地場産業を振興

で、県内の経済も循環するとの狙い。

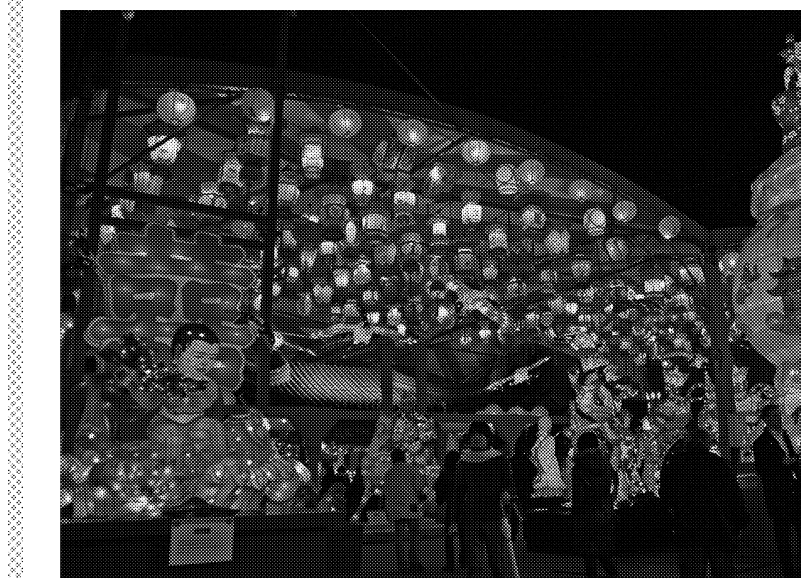
また長崎県産業振興財団では、日常的な支援活動として地場企業のビジネスマッチングに力を入れている。長崎市内の拠点に5人、佐世保市内の拠点に2人の専門担当職員を置いて、日ごろから地場企業を訪問し、企業の強みを把握。県外

製造といった海洋エネルギー分野の強化を柱に、人材育成や港湾物流に力を注ぐ。17年度に経済効果1200億円を目指している。

また産業振興に中小企業の底上げは不可欠。長崎は産業構造として大手企業と中小企業に二極化し、中堅企業の層が薄い。課題がある。そこで長崎県は13年度から「元気なものづくり企業成長応援事業」を実施。県内中堅企業より、県外企業からの受注獲得を支援する



初開催した「ものづくりテクノフェア」



幻想的な雰囲気のランタンフェスティバル

このほか、波佐見町では約400年間続く「築港のまつり」を盛り上げる。県内各地に知的好奇心を満たす自然や文化がある。

観光も魅力たっぷり

長崎は豊富な観光資源に恵まれた街でもある。13年から佐山から望む夜景が有名だが、12年には夜間観光コース「つづみ」の街、長崎を掲げて、夜間や世界遺産登録を目指す。長崎の教会群とキリスト教関連遺産などを

ほか旧正月に合わせて行われる長崎ランタンフェスティバルは、長崎市中心部が中国ちょうちんで飾られ、幻想的な雰囲気包まれる(14年は1月31日・2月14日に開催)。ハウス・ボート「佐世保」が実施する大規模イルミネーションイベントも人気だ。

またユネスコの世界文化遺産にも登録された「長崎の明治日本の産業革命遺産」は、28の構成資産のうち8カ所が長崎市内に集中。中でも「長崎造船所」のシャイアント・カンチレバークレーン

は、三菱重工の設備として現存も稼働している。「軍艦島」として知られる端島炭坑のほか、旧クラバー住宅など構成資産として挙げられている。

このほか、波佐見町では約400年間続く「築港のまつり」を盛り上げる。県内各地に知的好奇心を満たす自然や文化がある。



「企業立地フォーラム」では県外の自動車関連企業を招いた

長崎県と長崎県産業振興財団(長崎市)は、さらなる自動車関連企業の誘致につなげるよう13年7月に「長崎県企業立地フォーラム」を長崎市内で開催。県外から自動車関連企業27社を長崎に招待した。これまでにない試みだった。「日本の西端」という長崎の地理性は、成長市場であるアジアへの近さでもある。そのため県などは、その立地を強調して優位性をアピール。今後の拡大が期待される自動車産業の取り込みを模索している。

工業高校生は国家試験合格者数が多いことで知られる。第一種電気工事士試験では13年連続の合格者数日本一(12年度時点)。「第三種電気主任技術者試験」の合格者でも全国2位(12年度)だ。一方県内に就職の受け皿が十分でないことが、優秀な人材が就くことが少ないと、メリットを強調する。

用側から見れば人件費を抑えられる側面もある。製造業だけでなく、コルセンター分野の立地でも評価は高い。人材確保のしやすさなども、「方言のイントネーション」が柔らかな印象を与える(大手企業のコールセンター担当者)。評価する声がある。また企業の事務機能を担うバックオフィス分野でも、企業誘致が進められている。



災害リスクの低さをアピール(波佐見町営工業団地)

立地の決め手は人材

用地「長崎テクノノルヒル」に金属加工の工場を積極的に誘致する。将来は生産拠点設置も視野に入れている。協定式

九州にはトヨタ・日産、ダイハツの完成車メーカー各社が基幹工場を置

誘致の受け皿である工業団地は13年から14年にかけて整備が進んでいる。県中部の波佐見町では面積2.85haの1波佐見町営工業団地、佐世保市では面積16.7haのウエストテクノ佐世保が分譲開始予定。波佐見町では面積8.1haの西隣早産工業団地がまもなく分譲を開始する。また松浦市内で「松浦市東部工業団地」を分譲しているほか、西海市でも工業用地の造成が予定されている。

用地「長崎テクノノルヒル」に金属加工の工場を積極的に誘致する。将来は生産拠点設置も視野に入れている。協定式

九州にはトヨタ・日産、ダイハツの完成車メーカー各社が基幹工場を置

誘致の受け皿である工業団地は13年から14年にかけて整備が進んでいる。県中部の波佐見町では面積2.85haの1波佐見町営工業団地、佐世保市では面積16.7haのウエストテクノ佐世保が分譲開始予定。波佐見町では面積8.1haの西隣早産工業団地がまもなく分譲を開始する。また松浦市内で「松浦市東部工業団地」を分譲しているほか、西海市でも工業用地の造成が予定されている。

用地「長崎テクノノルヒル」に金属加工の工場を積極的に誘致する。将来は生産拠点設置も視野に入れている。協定式

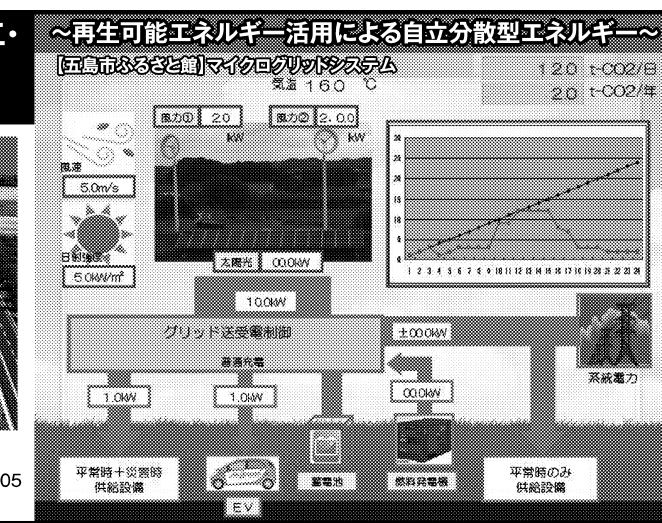
九州にはトヨタ・日産、ダイハツの完成車メーカー各社が基幹工場を置

誘致の受け皿である工業団地は13年から14年にかけて整備が進んでいる。県中部の波佐見町では面積2.85haの1波佐見町営工業団地、佐世保市では面積16.7haのウエストテクノ佐世保が分譲開始予定。波佐見町では面積8.1haの西隣早産工業団地がまもなく分譲を開始する。また松浦市内で「松浦市東部工業団地」を分譲しているほか、西海市でも工業用地の造成が予定されている。

自動車産業を積極誘致

長崎県は日本の西端であると同時に、アジアを間近に臨める所だ。半島と島が広大な海を抱く海洋県で、大手をはじめ中堅中小造船業者が立地する造船の街としても知られる。造船業は県の基幹産業として経済を支えている。一方で近年は九州北部で盛んな自動車産業に関連した企業の誘致や立地が目立つ。さらに産業の下支えに不可欠な中小企業に対しても、振興に向けたさまざまな取り組みが行われている。

各地で進む用地整備



水とエネルギー事業における「ご提案・システム設計・製作・施工・メンテナンス」のワンストップソリューションを提供し、地域振興に貢献しています

波佐見町営工業団地 分譲中!

■ 恵まれた立地環境「波佐見町営工業団地3つのポイント」

- 1 交通アクセスに最適
高速道路1.6まで3分。北部九州へのアクセスに最適
- 2 災害に強い安全性
内陸型の工業団地で地震がなく、震災・津波に強い安全性を確保
- 3 優秀な人材が豊富
通勤圏内に優秀な人材を輩出する高校や工業系高等専門学校多数立地

※波佐見テクノパークに隣接

用地概要

分譲面積	分譲価格
2.85ha	13,000円～15,000円/㎡

お問合せは
波佐見町 商工振興課 企業誘致係
TEL 0956-85-2111 FAX 0956-85-5581
E-mail kigyotown.hasami.lg.jp

〒859-3791 長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷660
波佐見町HP http://www.town.hasami.lg.jp

■ 優遇制度
※優遇制度にはそれぞれ条件がありますので、お問合せください。
奨励金の交付をはじめとした様々な優遇制度を設け企業立地を積極的に支援します。

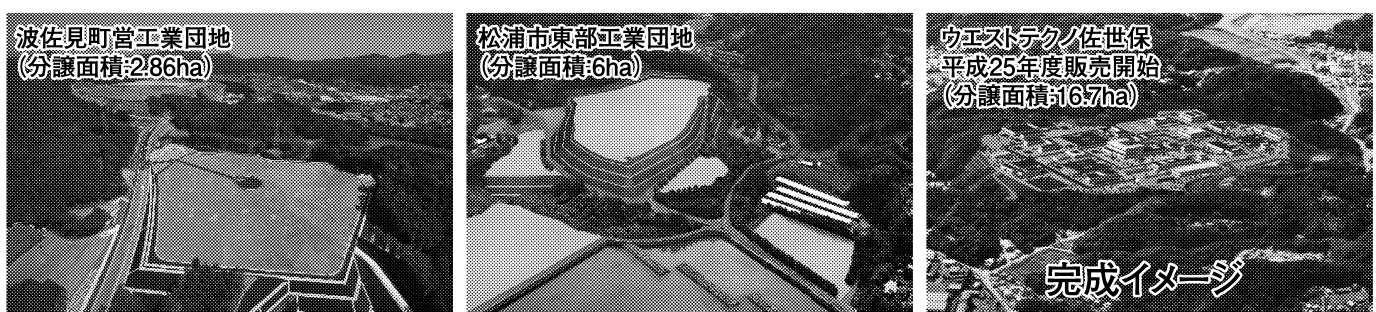
固定資産税免除	雇用奨励金	空き工場等活用奨励金
波佐見町から空港・港までの時間 長崎空港……………約40分 福岡空港……………約80分 佐世保港……………約40分 伊万里港……………約40分 博多港……………約85分	波佐見町から九州各地までの時間 (※高速道路利用時) 長崎市……………約60分 福岡市……………約90分 鳥栖市……………約50分 大分市……………約150分 熊本市……………約180分	

長崎県 企業の“WANTS”に応える立地支援

企業が進出しやすい、魅力的な立地支援策を用意しております。

- 優秀な人材が豊富!
～ジュニアマイスター・顕彰制度認定者数 全国上位～
- リスクヘッジに!
～拠点設備の分散化に適しています～
- 充実した優遇制度!
～投資・新規雇用に対して最大30億円の補助等～
- アジアへの展開に適した立地環境!
～中国・東アジアに近く、アクセスが良好～

このほか、適地のご提案からアフターフォローまでサポート致しますので、お気軽にお問い合わせください。



完成イメージ

財団法人長崎県産業振興財団

〒850-0862長崎市出島町2番11号(出島交流会館6階)

電話095-820-8890 FAX095-827-5243

http://www.joho-nagasaki.or.jp/invest/

よかネット長崎 または 長崎 県産業振興財団

検索

